安寿（あんじゅ）

シルバーカー さんぽっぽ
取扱説明書

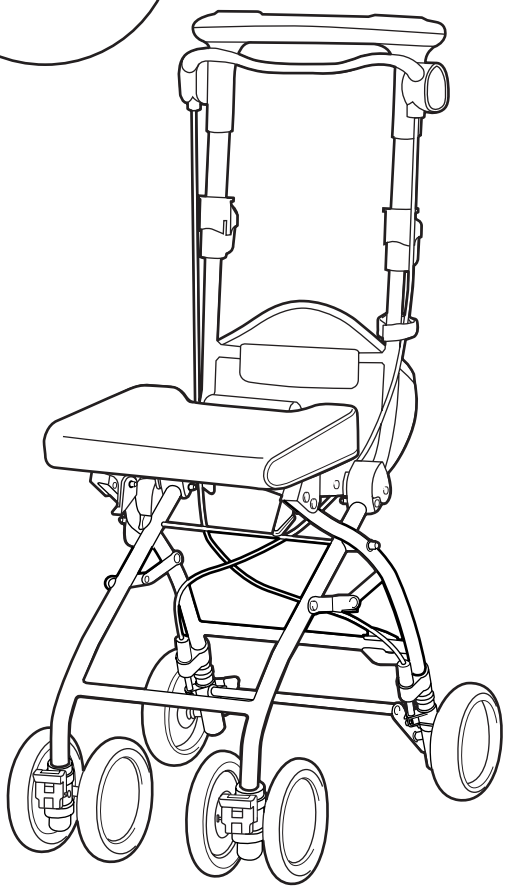
このたびはシルバーカー さんぽっぽ をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。
●正しくお使いいただくため、ご使用前に必ず取扱説明書をお読みください。
●この取扱説明書は大切に保管してください。
●本製品を他のお客様にお譲りになるときは必ず本書を併せてお渡しください。

⚠ ご使用になる前に

この製品は主として自立歩行できる高齢者が、より安定して歩行できるように補助的に使用するものです。手すり等の固定したものにつかまらなければ歩行できない人や介助者に手伝ってもらわなければ歩行できない人等には適しません。ご使用の際には、専門家等（福祉用具専門相談員、作業療法士、理学療法士等）に相談してからご購入されることをお勧めします。

加齢などによって、この製品が合わなくなり危険となる場合があります。
屋内の移動が困難になったり、屋外でも短距離の移動が困難になった場合には使用を中止してください。
また、定期的に専門家等にこの製品が適切かどうか相談してください。

最大使用者体重
80kg



もくじ

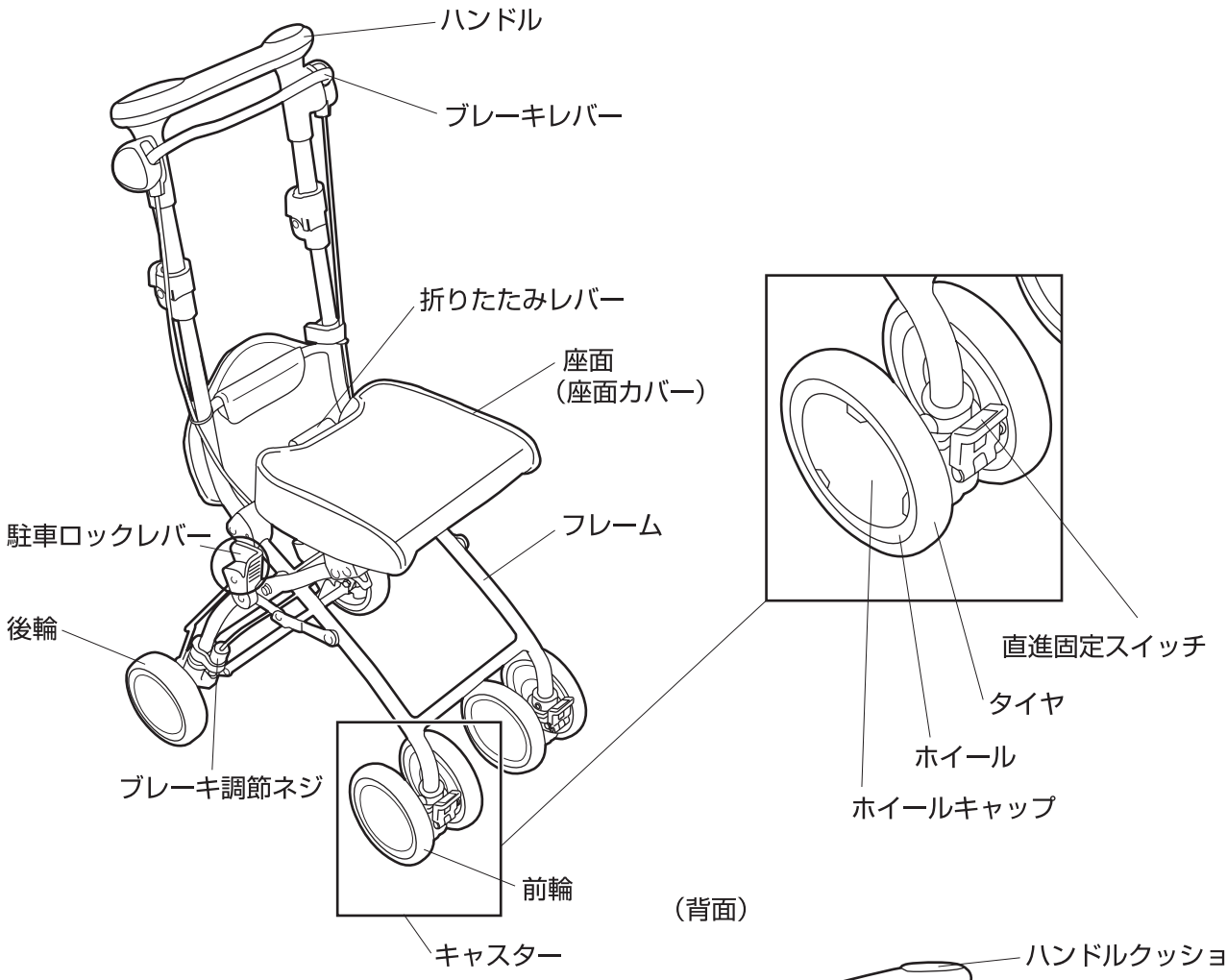
必ずお読みください
- 各部のなまえ 1〜2
  - ■各部のなまえ／仕様／サイズ
- 安全上のご注意 3〜8
  - ■使用前のご注意
  - ■使用中のご注意
  - ■お手入れ上のご注意
  - ■保管上のご注意

使いかた
- 使いかた 9〜12
  - ①本体の開きかた
  - ②折りたたみかた
  - ③ハンドル高さの調節方法
  - ④ブレーキのかけ方
  - ⑤駐車ロックレバーの操作方法
  - ⑥杖の固定方法
  - ⑦キャスターの作動設定
- お手入れの方法 13
  - ■ブレーキの調整方法
  - ■キャスターについて

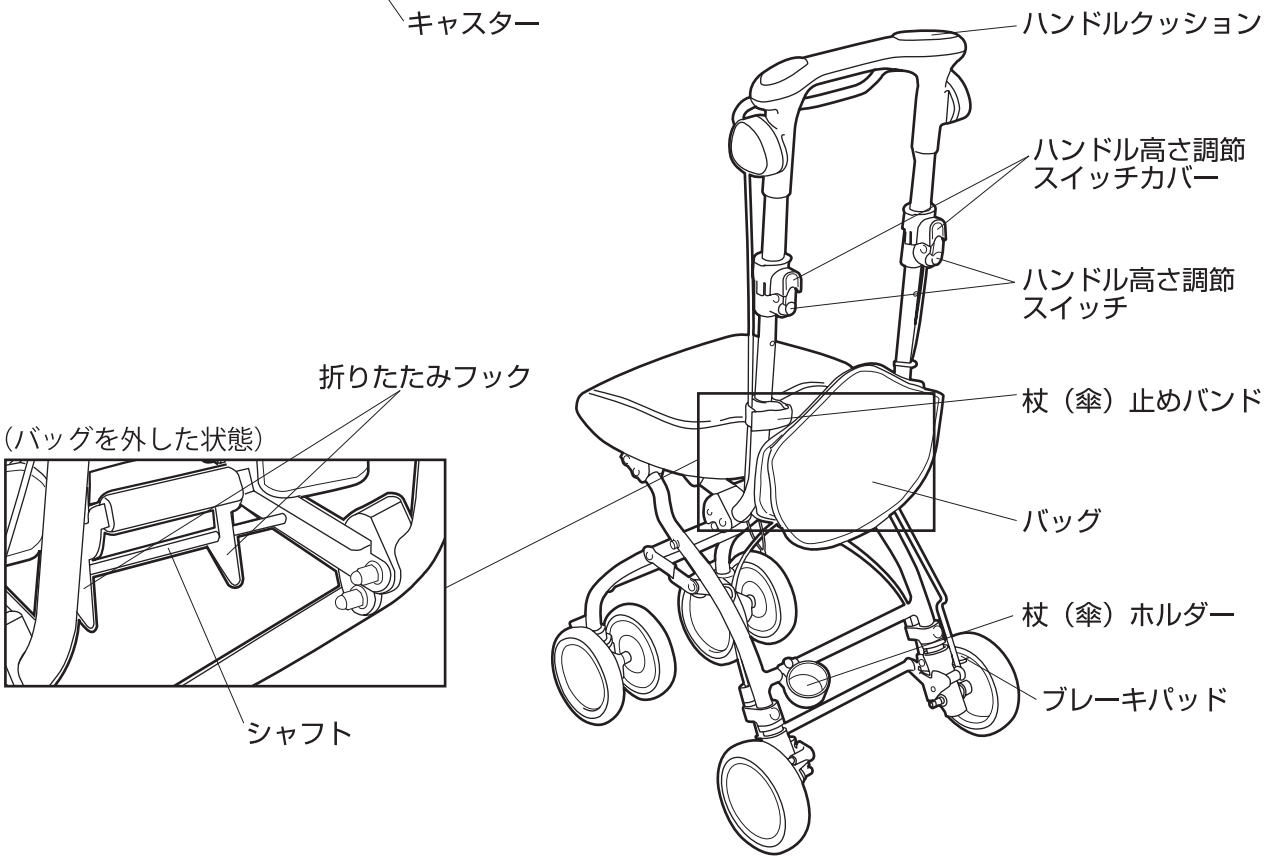
困ったとき
- 交換部品 14
  - ■交換部品
  - ■交換時期のめやす

財団法人製品安全協会
SG 合格品

各部のなまえ


ハンドル
ブレーキレバー
折りたたみレバー
座面
（座面カバー）
フレーム
駐車ロックレバー
後輪
ブレーキ調節ネジ
前輪
キャスター
直進固定スイッチ
タイヤ
ホイール
ホイールキャップ

（背面）


ハンドルクッション
ハンドル高さ調節
スイッチカバー
ハンドル高さ調節
スイッチ
杖（傘）止めバンド
バッグ
杖（傘）ホルダー
ブレーキパッド
折りたたみフック
（バッグを外した状態）
シャフト

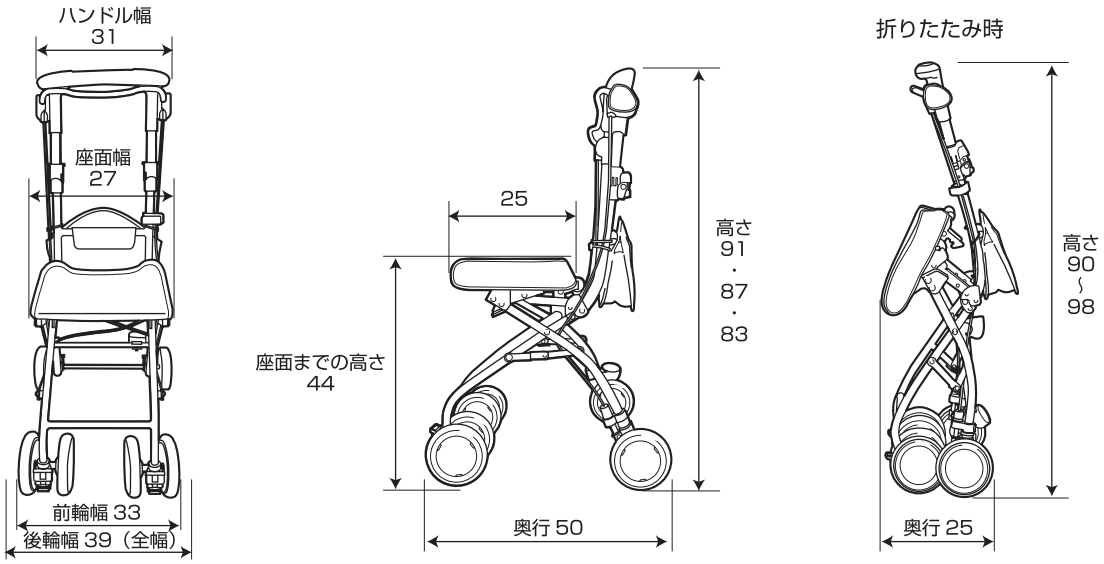
仕様・寸法

■仕様

	部　品　名	材質
構成部材	座面・バッグ	ポリエステル
	フレーム	アルミニウム
	ハンドルクッション	エラストマー樹脂
	ハンドル・ホイール・ホイールキャップ	ポリプロピレン
	タイヤ	EVA 樹脂
商品サイズ	幅 39× 奥行 50× 高さ 83～91cm 座面までの高さ：44cm 折りたたみ時のサイズ：幅 39× 奥行 25× 高さ 90～98cm	
商品重量	約 4.9kg	
バッグ容量	約 2 リットル （載荷重：1kg 未満）	

廃棄上のご注意　おすまいの地域の分別ルールに従って廃棄してください。

■商品寸法図（単位：cm）



安全上のご注意 必ずお守りください

この製品は、主として高齢者の歩行を補助する為の「シルバーカー」です。
それ以外の目的での使用はおやめください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他人への危害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠警告	誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。
⚠注意	誤った使いかたをすると「障害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

■お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示（図記号）で区分し、説明しています。

❗ 必ず実行していただく「強制」内容を説明しています。

🚫 してはいけない「禁止」内容を説明しています。

使用前のご注意（必ず点検してください。）

⚠警告

❗必ず実行すること

正常な状態でご使用ください。

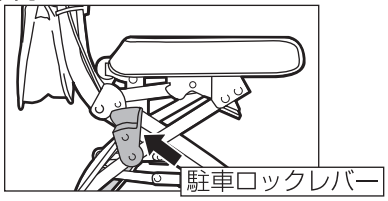
確認を行わず、正しく作動しない状態でお使い頂くと転倒やけがの原因になります。

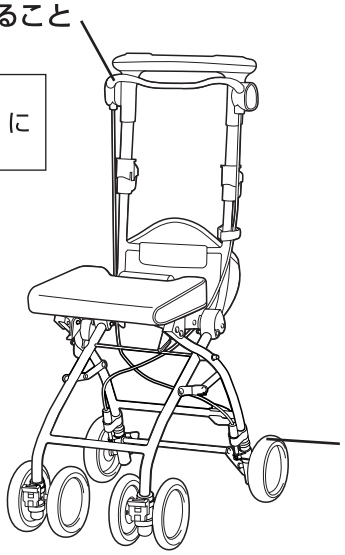
正常な状態

■ブレーキが左右両輪に確実にかかることを確認してください。

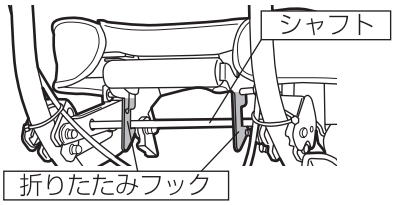
⇒ブレーキが効きにくい場合は、13ページの「ブレーキの調節方法」に従って調節してください。

■駐車ロックレバーを操作すると左右両輪が止まることを確認してください。





■座面が確実に開いていて、折りたたみフックがシャフトを確実に超えていることを確認してください。



■各部のネジやナットが緩んでいないことを確認してください。

■タイヤとブレーキパッドが擦り減っていないことを確認してください。

⇒タイヤの交換時期の目安は、14ページを確認してください。タイヤ、ブレーキパッドの交換は、お求めの販売店にご相談ください。

■座面カバーがしっかり取り付けられていることを確認してください。

ハンドルの高さを調節した時は、ハンドルが確実に固定されており上下に動かないことを確認すること

転倒し、けがの原因になります。

⇒ハンドル高さのフィッティングはお買い上げの販売店やケアマネジャーなど専門家に相談してください。

🚫絶対にしないこと

自立歩行ができない方は使用しないこと

転倒し、けがの原因になります。

体重が 80kg を超える方は使用しないこと

故障やけがの原因になります。

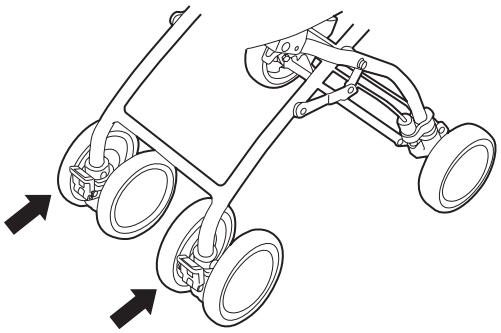
安全上のご注意 必ずお守りください

使用前のご注意（必ず点検してください。）

⚠ 注意

必ず実行すること

左右前輪の直進固定スイッチを同じ設定にすること
歩行が不安定になり転倒し、けがの原因になります。



絶対にしないこと

雨、雪の日など路面がすべりやすいときは使用しないこと
車体が転倒し、けがの原因になります。

風の強いときは使用しないこと
車体が勝手に動き出したり、転倒しけがの原因になります。

安全上のご注意 必ずお守りください

使用中のご注意

⚠ 警告

必ず実行すること

安全な使い方をしてください。

安全な使い方をしないと、転倒やけがの原因になります。

安全な使い方

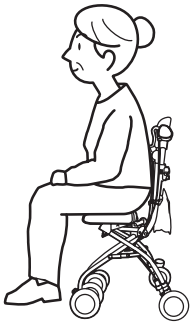
押して歩く

■歩いて使用してください。

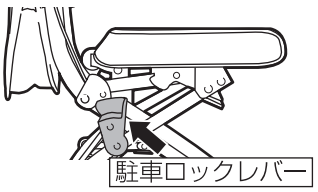
■急な坂道や踏切の横断での使用は注意してください。

■ハンドルに寄りかかり、車体だけが前に動かないように注意してください。

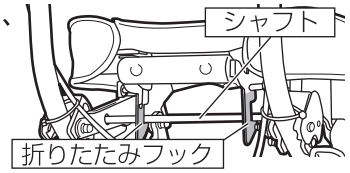
腰掛ける



■座面に腰掛けるときは、事前に必ず駐車ロックレバーでロックし、左右両輪が止まっていることを確認してください。



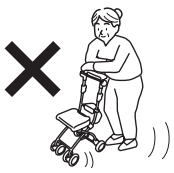
■座面が確実に開いていて、折りたたみフックがシャフトを確実に超えていることを確認してください。



■座面から立ち上がるときは、車体が動かないことを確認してからゆっくり立ち上がってください。

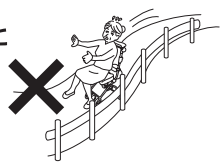
絶対にしないこと

ハンドルに寄りかかったり、過度の荷重をかけないこと
車体が移動して利用者が転倒し、けがの原因になります。

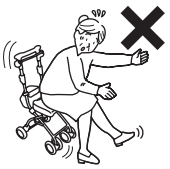


階段やエスカレーターで使用しないこと
車体が転倒し、けがの原因になります。

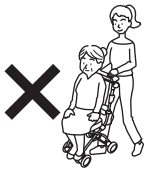
傾斜地では腰掛けないこと
車体が移動して利用者が転倒し、けがの原因になります。



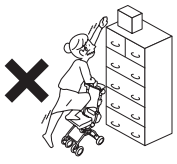
座面に浅く座らないこと また、座面以外のところには座らないこと
車体が移動して利用者が転倒し、けがの原因になります。



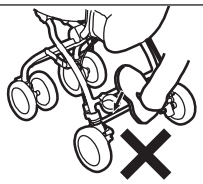
座面に人を乗せたまま移動しないこと
転倒し、けがの原因になります。



踏み台として使用しないこと
車体が転倒し、けがの原因になります。



足元のパイプに足をかけたり、乗らないこと
転倒したり、故障の原因になります。



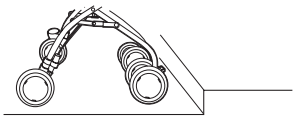
安全上のご注意 必ずお守りください

使用中のご注意

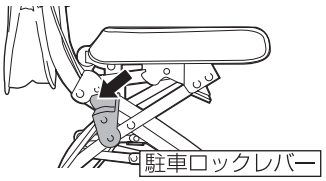
⚠ 注意

❗ 必ず実行すること

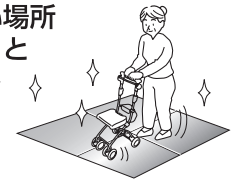
段差を斜めに進入することは止めること
また、段差の手前では必ず一旦止まり、
十分注意して慎重に段差を越えること
段差や溝につまずき転倒し
けがの原因になります。



車体から離れるときは、
必ず駐車ロックレバーをかけること
車体が不意に動き出す恐れがあります。



ワックスをかけた床、
大理石の床など滑りやすい場所
での使用は十分注意すること
バランスをくずして転倒し
けがの原因になります。

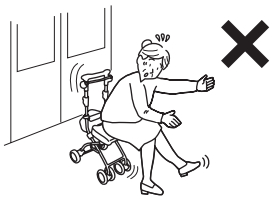


交通の煩雑なところ、
混雑しているところ
及び夜間での使用は
十分注意すること
転倒、けが、事故の
恐れがあります。

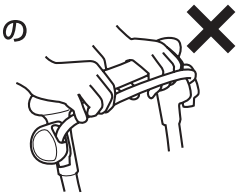
⃠ 絶対にしないこと

傘や杖等を手に持ちながら
使用しないこと
姿勢が不安定になり、
転倒しけがの原因になります。

バス・電車などの
乗物内では腰掛けないこと
車体が転倒し、
けがの原因になります。

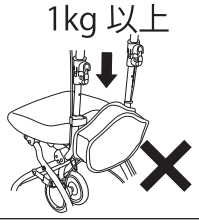


ハンドルとブレーキレバーの
間に指を入れたまま
ブレーキをかけないこと
指をはさみ、けがの原因に
なります。

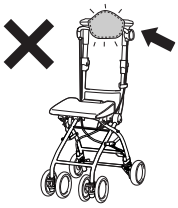


砂、泥のある場所、特に
水たまりでは使用しないこと
転倒したり、
故障の原因になります。

付属のバッグには
1kg 以上の
荷物を入れないこと
転倒や故障の原因に
なります。

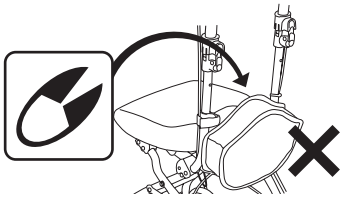


付属のバッグは
指定の位置以外に
とりつけないこと
転倒や故障の原因に
なります。

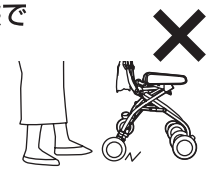


バッグの中以外に荷物を乗せたり、
吊るしたりしないこと
バランスをくずして転倒や
故障の原因になります。

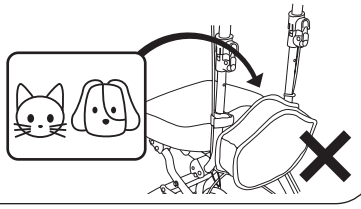
付属のバッグには
鋭利なものを
入れないこと
破損や故障の原因に
なります。



駐車ロックがかかった状態で
押さないこと
タイヤが著しく摩耗したり
変形する原因になります。



付属のバッグには
ペットを
入れないこと
思わぬ事故の原因に
なります。



安全上のご注意 必ずお守りください

お手入れ上のご注意

⚠ 警告

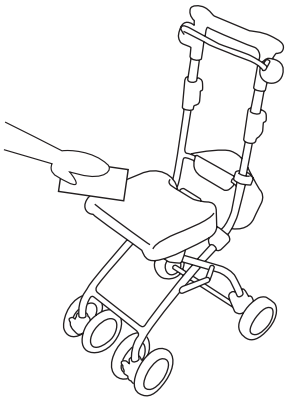
必ず実行すること

正しくお手入れをしてください

正しくお手入れしないと、故障や変形、けがの原因になります。

正しいお手入れのしかた

中性洗剤または濡れた布でほこりを落とし、
乾いた布でよく拭き取ってください。

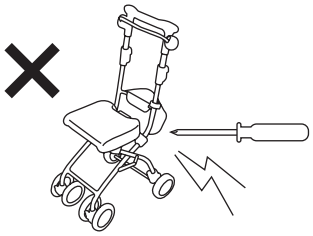


■注油について
きしみ音が発生したり、作動が鈍いときは
泥や汚れをよく拭き取ってから原因の箇所に
少量のシリコン系潤滑油を注油してください。
タイヤ、ブレーキパッドに油がつかないように注意して
ください。タイヤやブレーキパッドに付着した油は
よくふきとってください。

車体の破損や異常を発見した場合は、直ちに使用を中止すること
重大な事故につながる恐れがあります。

絶対にしないこと

改造や分解をしないこと
本体機能が正常にはたらかず、けがの原因になります。



次にあげるものではお手入れしないこと
劣化および変色の原因になります。

- 塩素系洗剤
- 酸、アルカリ性洗剤
- シンナー
- クレゾール
- タワシ
- 研磨剤入りのスポンジ
- 磨き粉
- 塩素系薬剤をかけての殺菌、消毒
- その他製品を傷つけるもの

安全上のご注意 必ずお守りください

保管上のご注意

⚠ 警告

必ず実行すること

正しく保管をしてください

正しく保管しないと、故障や変形、けがの原因になります。

正しい保管のしかた

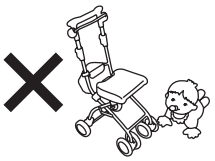
直射日光を避け、乾いたところ、風通しの良いところで保管してください。

⚠ 注意

絶対にしないこと

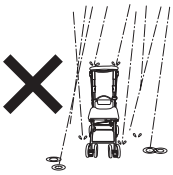
幼児や小さなお子さまの手の届くところに置かないこと

思わぬけがの原因になります。



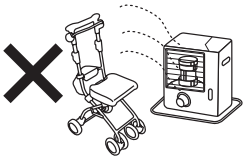
戸外に放置して雨ざらしにしないこと

金属部がさびて故障の原因になります。



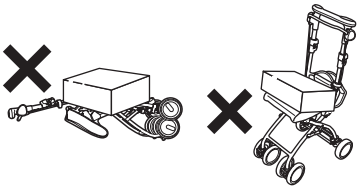
火気に近づけたり、夏期の車内など、高温になる場所には保管しないこと

故障や変形の原因になります。



荷物を重ねたり、圧力が加わる状態で保管しないこと

故障や変形の原因になります。



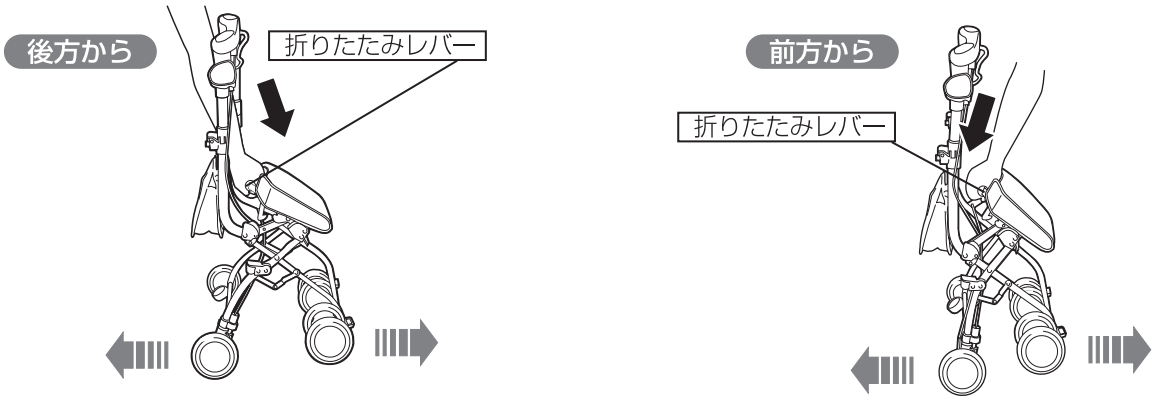
使いかた

本体を開いたり、折りたたんだりするときは、下記の事項に注意してください。

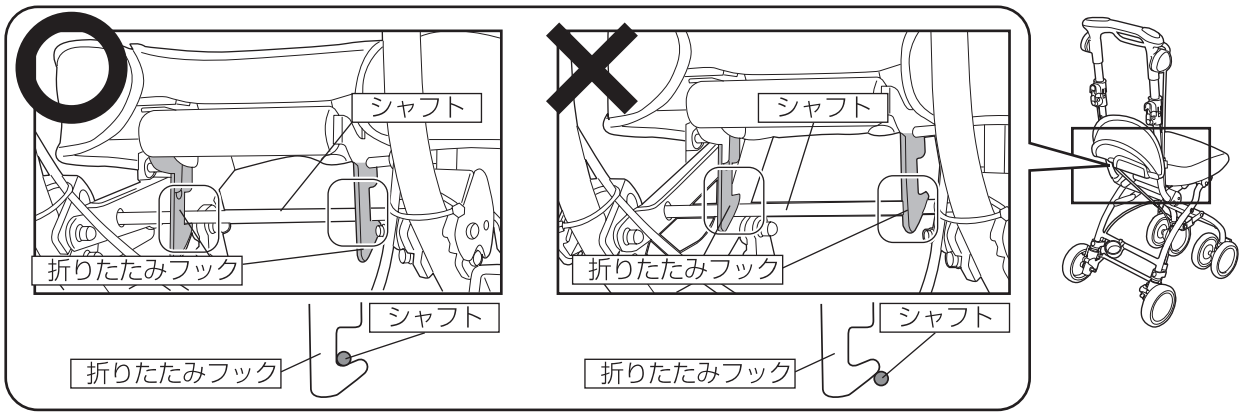
> ⚠ 警告　**折りたたんだり、開いたりするときは、折りたたみレバーを持って行うこと**
> 手や指をはさんで、けがをする恐れがあります。

1 本体の開きかた

①座面後部の折りたたみレバーを握り、座面が水平になるまで床面に向けてゆっくり押し下げてください。
本体の前方と後方から開くことができます。



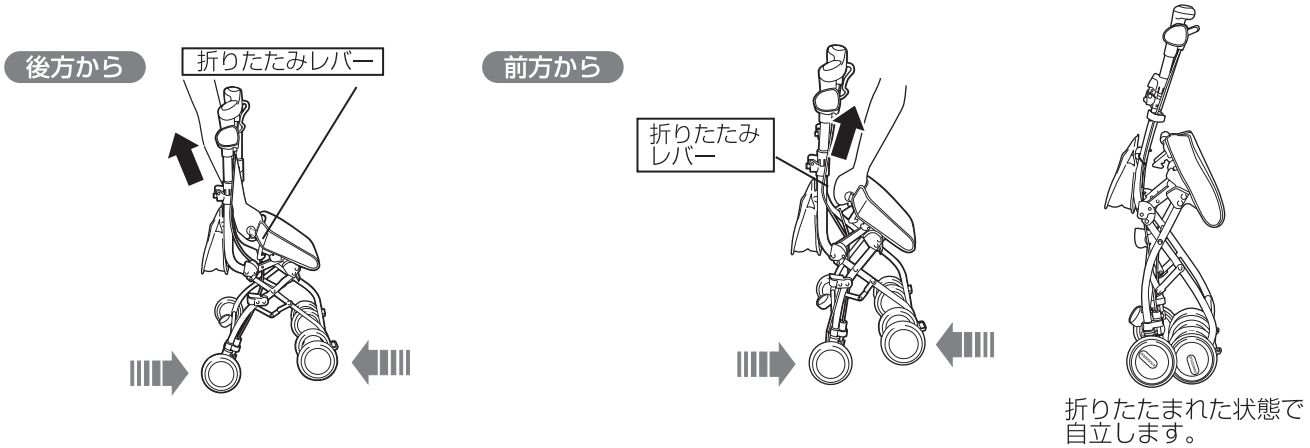
②折りたたみフックが、シャフトを確実に超えていることを確認してからご使用ください。



> ⚠ 警告　**座面が確実に開いていて、折りたたまれないか、確認して使用すること**
> 歩行中に折りたたまれ、けがの原因になります。

2 折りたたみかた

座面後部の折りたたみレバーを握り、引き上げてください。片手で折りたたむことができます。

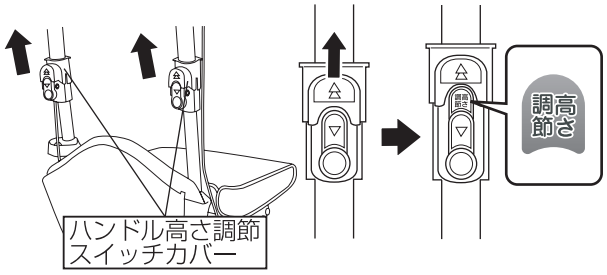


折りたたまれた状態で
自立します。

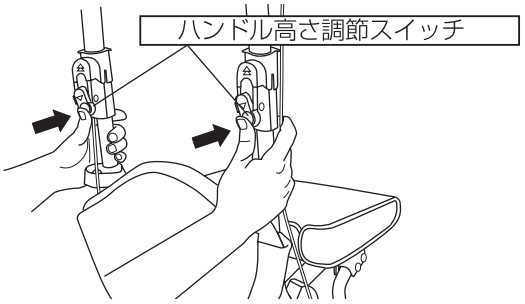
使いかた

3 ハンドル高さの調節方法

① ハンドル高さ調節スイッチカバーをイラストのように
ハンドル高さ調節スイッチの「高さ調節」シールが
見えるまで矢印の方向へ引き上げてください。



② ハンドル高さ調節スイッチを左右同時に
押しながら、ハンドルを上下に動かします。

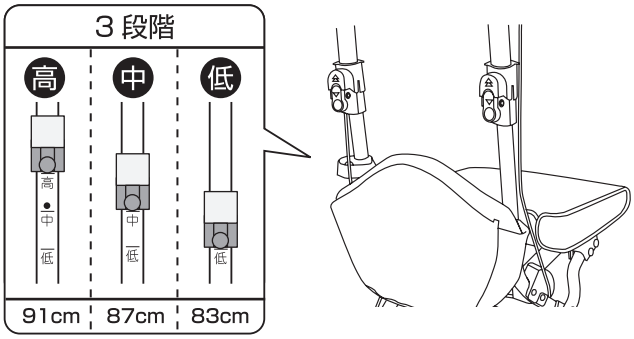


③ 刻印に合わせて、高さを調節してください。
3 段階の中から調節できます。

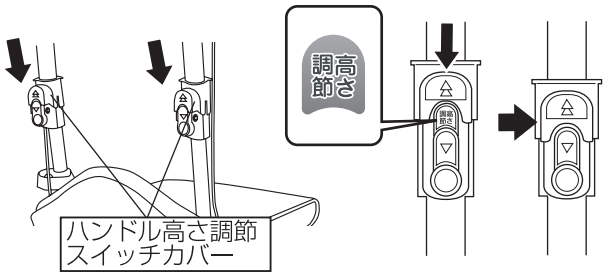
■高さ調節のめやす

ハンドルの高さの目安		
身　長	ハンドルの高さ	刻　印
158cm以上	91cm	高
151～157cm	87cm	中
150cm以下	83cm	低

※肘を45°程度に軽く曲げた時が
押しやすい理想の高さです



④ ハンドル高さ調節スイッチカバーをイラストのように
ハンドル高さ調節スイッチの「高さ調節」シールが
隠れるまで矢印の方向へ引き下げてください。



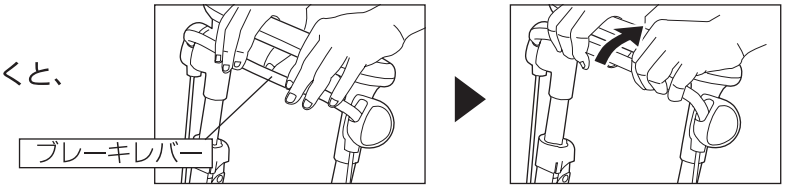
⚠ 注意

ハンドル高さ調節スイッチカバーが確実に下りているか、確認してから使用すること
不意にハンドルが下がり、転倒してけがの原因になります。

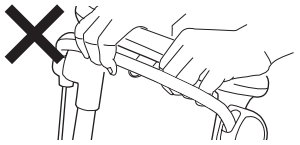
使いかた

4 ブレーキのかけ方

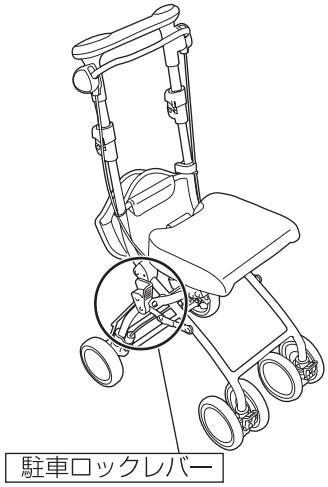
ブレーキレバーを手前（矢印の方向）に引くと、
ブレーキがかかります。



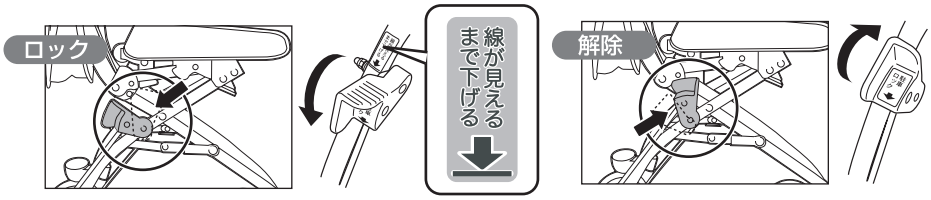
⚠ 注意	**ハンドルとブレーキレバーの間に指を入れたまま ブレーキをかけないこと** 指をはさみ、けがの原因になります。



5 駐車ロックレバーの操作方法

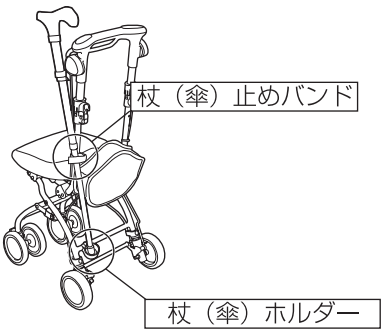


駐車ロックレバーを矢印の方向（後方）に、本体に貼られた目安シールの線が見えるまで倒すとタイヤがロックします。
もどすとロックが解除されます。



⚠ 警告	**座面を使用する場合は必ず駐車ロックをかけ、左右両輪が止まっていることを確認すること**
⚠ 注意	**歩行時は必ず駐車ロックレバーを解除すること** 後輪がロック状態のまま歩行すると、転倒しけがの原因になります。
	傾斜地では腰掛けないこと

6 杖の固定方法



杖の先端を杖（傘）ホルダーに入れて、杖止めバンドで固定してください。

⚠ 注意	**杖の先端は確実に杖（傘）ホルダーに入れること** 車体や後輪にはさまると走行中にブレーキがかかり、転倒する恐れがあります。
	杖（傘）ホルダーに足をかけないこと 破損の原因になります。

使いかた

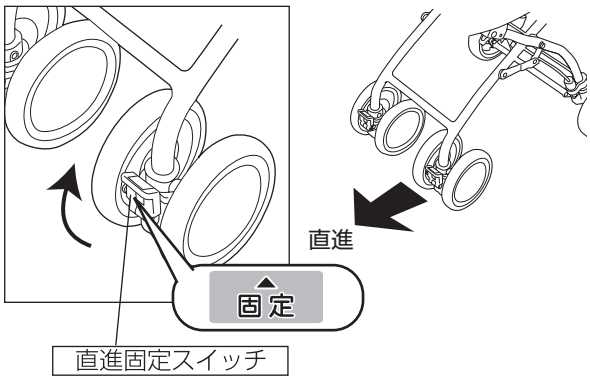
7 キャスターの作動設定

キャスターは前輪の直進固定スイッチを切り換えることで、「直進固定」と「首振り」の２通りの設定ができます。
首振り角度は左右 60° です。キャスターの作動設定は両輪ともに同じ設定でご使用ください。

直進固定

傾斜や凸凹がある路面などで直進性を保ちたいときに適しています。

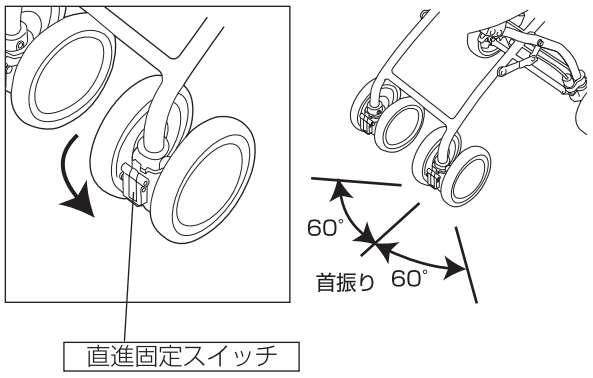
■直進固定スイッチを＜上げる＞



首振り

腕の力が弱く、曲がるときに負担を感じる方も直進固定と比べ、容易に方向転換できます。
ただし、キャスター自体の直進性はありません。
また、後ろに下がりにくくなることがあります。

■直進固定スイッチを＜下げる＞



⚠ 注意

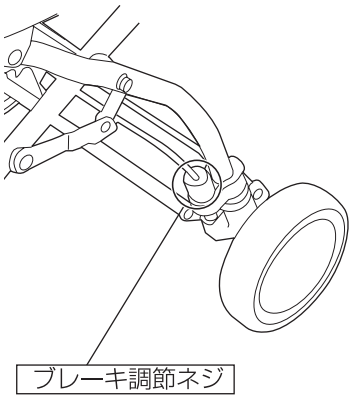
左右前輪の直進固定スイッチを同じ設定にすること
歩行が不安定になり、転倒しけがの原因になります。

お手入れの方法

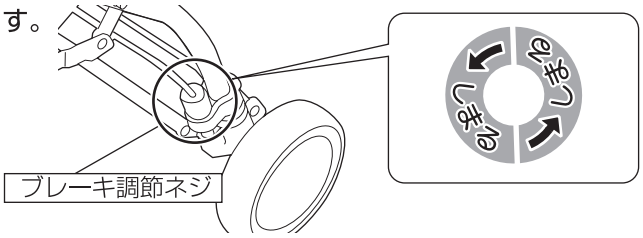
⚠ 警告 **改造や分解を行わないこと**
本体機能が正常にはたらかず、けがの原因になります。

ブレーキの調節方法

ブレーキがききにくくなった場合、ブレーキ調節ネジでブレーキパッドの位置を調節してください。

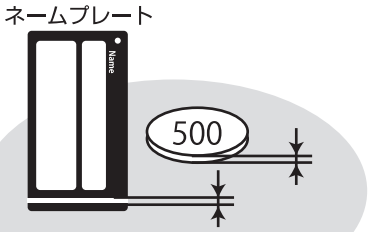


①ブレーキ調節ネジのシールの表記に従って、矢印の方向にブレーキ調節ネジを回します。

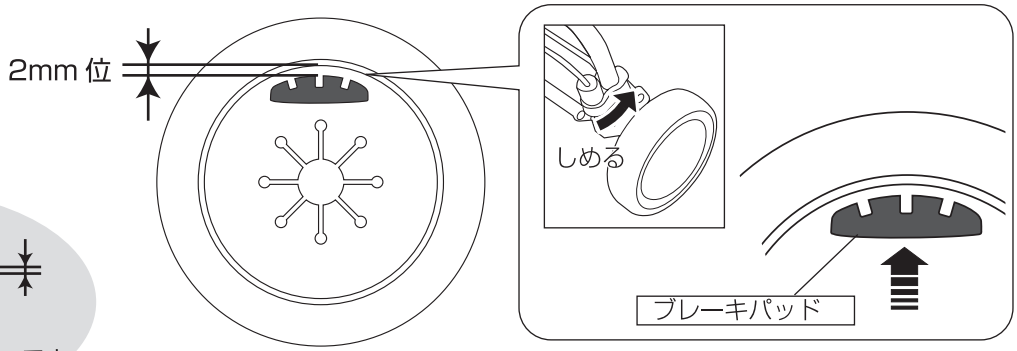


②ブレーキパッドとタイヤのすき間が 2mm 位になるように調節してください。すき間が小さくなりすぎてしまった場合は、ブレーキ調節ネジを逆方向に回し調節してください。

2mm の目安



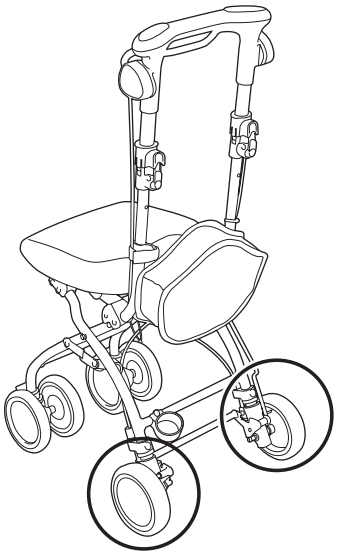
500 円玉の厚みが約 2mm です。
また、ネームプレートの白線がおよそ 2mm ですので目安にご利用ください。

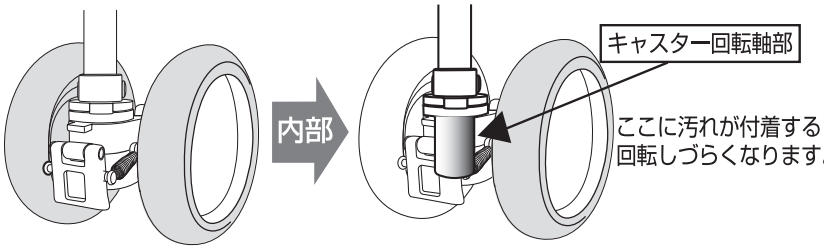


※処置を行っても改善されない場合は、お買い上げの販売店へご相談ください。

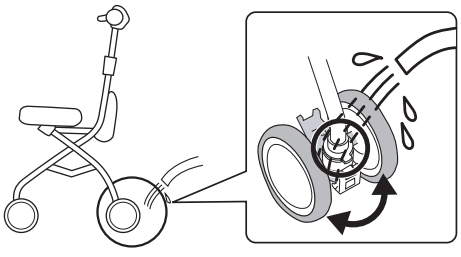
キャスターについて

使用しているうちにキャスターが回りにくくなった場合、キャスターが回転する軸部分に汚れが付着している可能性があります。キャスターの軸部分を水で洗いながしてください。





キャスターを左右へ回転させながら水で洗いながしてください。

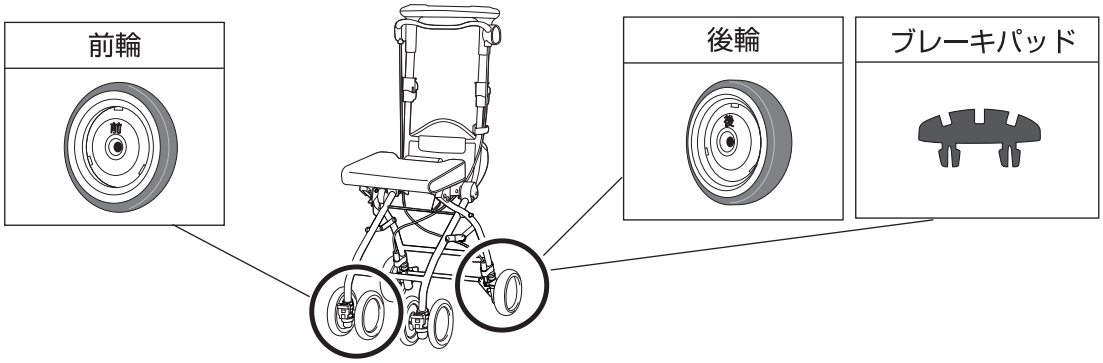


※処置を行っても改善されない場合は、お買い上げの販売店へご相談ください。

交換部品

ブレーキパッド、タイヤは消耗品ですので、定期的に点検し、下記の「交換時期の目安」の状態になったらお買い求めになった販売店にお問い合わせの上、修理を依頼してください。

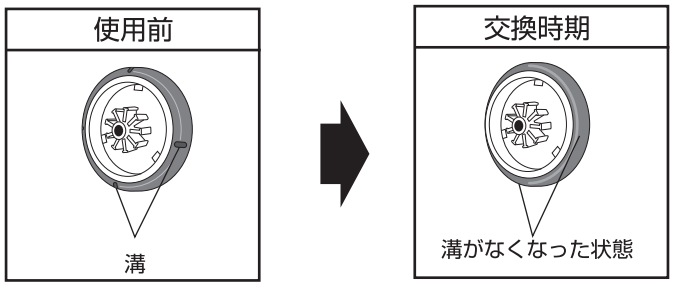
交換部品



交換時期のめやす

■前・後輪

タイヤ内側にある 4 カ所のタイヤ交換サインの溝が
1 カ所でも削れて見えなくなったときが交換時期です。



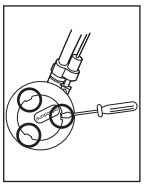
タイヤ交換サインは摩耗による交換時期の目安です。経年などによる素材の劣化（ひび割れなど）が見られる場合は、タイヤ交換サインに関係なく、ただちに交換してください。

前輪と後輪の違い

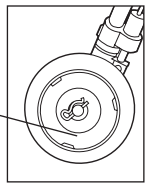
前輪と後輪はそれぞれ幅が異なります。
(前輪 23mm/ 後輪 33mm)
また、ホイールキャップを外すと、
ホイールにそれぞれ刻印が入っていますので
ご確認してください。

■ホイールキャップの外し方

ホイールキャップをタイヤに
固定している 3 カ所の爪を
マイナスドライバーなどを
使ってはずしてください。

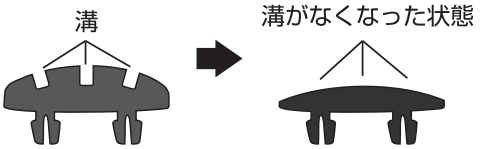


それぞれ「前」「後」の
刻印が入っています。



■ブレーキパッド

パッド交換サインの溝がなくなったときが、
交換時期です。



●製品の仕様および価格は、予告なく変更する場合があります。

11.03

製品に関するご意見・お問い合わせは

お客様相談室

フリーダイヤル 0120-86-7735

（受付時間）祝祭日以外の月～金 9：00～17：00
（12：00～13：00はのぞく）

アロン化成株式会社
ライフサポート事業部
〒141-0022 東京都品川区東五反田1-22-1 五反田ANビル4階
TEL（03）5420-1556 FAX（03）5420-7750

東京支店 ☎(03)5420-1562
大阪支店 ☎(06)6448-5127
名古屋支店 ☎(052)203-0396
福岡支店 ☎(092)741-1411
仙台支店 ☎(022)291-5477
広島支店 ☎(082)245-7100
札幌営業所 ☎(011)709-6011

919010